



「知のフォーラム」21世紀の支倉常長プロジェクト推進企画 「日本学における知の創出セミナー」

日本学セミナーは、日本を「対象」とする研究や、日本からの「視点」を重視する研究を広く「日本学」と捉えることにより、多様な日本学研究者の研究交流を促進し、東北大学における日本学の研究力強化を図ることが目的です。2016年度「知のフォーラム」テーマプログラムの一つである「21世紀の支倉常長プロジェクト」(オーガナイザー：尾崎彰宏 文学研究科教授ほか)の一環として開催しています。



Seminars on Japanese Studies as an Interdisciplinary Meeting Point

第4回 日本学セミナー

調和する意味、しない意味

講師：小野 尚之（東北大学大学院国際文化研究科 教授）

ことばの意味を伝えるしくみの1つに、ことばの多義性があります。多義性とはことばが状況に応じて異なる意味を持つことを言います。本講演ではこの多義性について、くびき語法という表現技法を題材にして考えてみたいと思います。くびき語法とは、例えば「恋もスープもさめないうちに」のような表現のことを指します。この表現では「恋」と「スープ」という異質な物を「さめる」という動詞でつないでいますが、これが成り立つのは、「さめる」が多義的だからです。「さめる」はその意味によって「冷める」「醒める（覚める）」「褪める」と書き分けられますが、「夢もスープもさめる」や「シャツの色もスープもさめる」では違和感が感じられます。「恋がさめる」は「冷める」でしょうか、「醒める」でしょうか。なぜ違和感があるものとなないものがあるのでしょうか。つまりなぜ調和する意味としない意味があるのでしょうか。このような話題を通して、意味の問題を身近に感じてもらいながら話を進めていきたいと思っています。

日 時：2016年1月21日(木) 16:30～18:00

会 場：東北大学川内南キャンパス
文科系総合研究棟 11階 大会議室

事前申込：不要 ※どなたでもご参加いただけます

懇 親 会：セミナー後に学外のお店で懇親会を行います。
参加希望の方は1月18日(月)までに事務局へご連絡ください。

事務局：塩谷 芳也（知の創出センター特任助教、プログラムコーディネータ）
email shiotani@m.tohoku.ac.jp

主 催：知の創出センター
尾崎 彰宏（文学研究科 教授）



TOHOKU FORUM
for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp

Supported by



TOKYO ELECTRON